

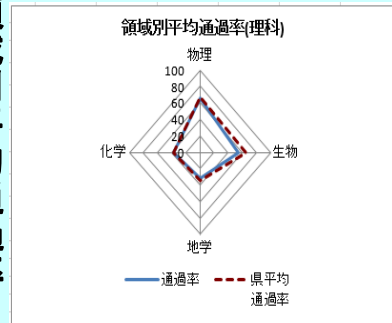
指導方法等の改善計画について [理科]

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 47.1%, 県 50.8%)

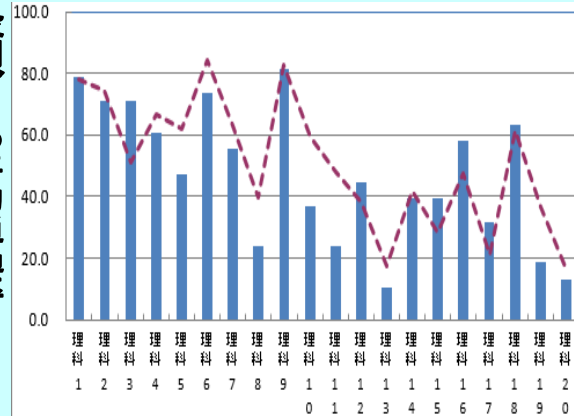
対県比 92.7%

本年度の結果について

領域別平均通過率



理科JWSH実態調査



学力定着実態調査 本年度正答率

本校 56.6 %
全国 64.0 %

対全国比 88.4%

- 理科の結果においてタイプⅠは 54.5%、タイプⅡ45.3%の通過率となっている。タイプⅠにおいては、50%を超えている設問が10問中5問あり、タイプⅡにおいては、50%を越えている設問が8問中4問ある。
- 領域別でみると物理 65.8%、化学 36.8%、生物 54.2%、地学 31.6%となっている。化学領域の通過率が特に低く、実験のデータを分析し筋道を立てて結論を導き出すことが苦手である。

重点課題

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】(堆積岩の種類) (10.5%)

堆積岩の種類を特定する根拠としては、堆積物の種類、堆積物の大きさがあるが、その根拠に基づき観察し、種類を特定できていない。

【課題2】(状態変化にともなう温度変化) (13.2%)

物質が状態変化するさい、温度変化が一定になる事をグラフから読みとることができていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

「基礎・基本」定着状況調査

【課題1】目標値 (70%) 実施後数値 (%)

観察におけるスケッチや、実験の記録など、視点を明確にし、違いや特徴を確実にとらえるスキルを繰り返すことで、科学的に物事をかんがえることができるようにする。

【課題2】目標値 (60%) 実施後数値 (%)

実験データをグラフ化するさい、正確にグラフに表す技能を繰り返し確認すること、グラフから分かる法則や関係を考え、検証するスキルを繰り返すことで、グラフが示す意味を読みとることができるようにする。

「基礎・基本」定着状況調査	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	期末テスト	夏休みの課題	授業	中間試験	授業	期末テスト	基礎基本再テスト		
目標値				70%		70%	80%		
取組の重点				動物の特徴を生きていく意味からとらえる学習をする			電流の性質を実験データからグラフ化を通して見つけ出す学習をする		